

# 第48回 ながのアビリンピック

## 【ビルクリーニング】種目 課題

### 第1 競技全般に係る注意事項

1. 課題の時間が定められています。

課題 : 10分 (弾性床事務所清掃)

12分で打ち切りとします

2. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
3. 競技採点は、作業動作 (手順)、仕様誤り、作業態度、作業準備・後片付け、作業時間の5面から審査し、加点方式によって行われます。
4. 標準時間を超過した場合は減点となります。

#### (挨拶例)

作業場所に最初に入室する時 : 「失礼します」と一礼し、入室する。

作業中の作業場所出入り時 : 軽く会釈をして出入りする。

作業場所を最後に退室する時 : 「失礼しました」と一礼し、退室する。

5. 作業に適した服装をしてください。
6. 作業開始の指示 (予告) は、審査委員が行います。「始めます。」「終わりました。」の申告は、競技者自身で行ってください。
7. 各作業は、使用した資機材を手入れした後、指定された場所へ片付けて完了とします。
8. 「始めます」「終わりました」の申告と、入室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は競技中に声を出さないでください。

### 第2 競技に使用する資機材に係る注意事項【課題：弾性床事務所清掃】

1. 作業面積は、 $16\text{ m}^2$  (4<sup>m</sup> x 4<sup>m</sup>) の広さです。
2. 床面の掃き・拭き作業及びゴミ処理・机上拭きの作業です。
3. 作業に使用する、資機材・消耗品は、作業カート (台車) に載せてあります。作業前に、競技者自身で揃っているかを点検してください。
4. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に競技者自身で作業しやすい長さに調節してください。
5. ダスタークロスは、競技者自身で作業前に取り付けて点検してください。
6. 幅木 (金枠) の上には壁があるものとして、作業を行ってください。

#### (注意)

作業者の身体や資機材を幅木 (金枠) より外に出さないように注意しながら作業をしてください。

7. 作業場所にある机は、移動させないでください。
8. 使用した資機材は、作業カートの指定された位置へ片付けてください。
9. モップ拭きは水拭きです。

10. 競技場に準備されているもの ※数量は競技場1面の数

| 品名         | 寸法又は規格                            | 数量 |
|------------|-----------------------------------|----|
| 机          | ビルクリーニング技能検定資機材に準拠                | 1台 |
| イス         | パイプ式折りたたみ                         | 1脚 |
| ゴミ箱        | 角型                                | 1個 |
| 作業用カート     | ビルクリーニング技能検定資機材に準拠                | 1台 |
| 作業標示板      |                                   | 1個 |
| ワンタッチモップ柄  | ワンタッチアルミ伸縮柄                       | 1本 |
| ラーグ (モップ房) | 白色                                | 1枚 |
| 小型片手ぼうき    | 30cm幅用                            | 1本 |
| 乾式モップヘッド   | 63cm                              | 1個 |
| 文化ちり取り     | ビルクリーニング技能検定資機材に準拠                | 1個 |
| タオル        | 無地 水拭き用 (青色) 1枚、<br>から拭き用 (白色) 1枚 | 2枚 |
| ダスタークロス    | 69cm幅の不織布                         | 1枚 |
| ゴミ袋        | ゴミ箱用替袋                            | 1枚 |

11. 競技者が持参するもの

| 品名        | 寸法又は規格 | 数量 |
|-----------|--------|----|
| 作業着 (上・下) |        | 1着 |
| 作業帽又は三角巾  |        | 1個 |
| 作業靴       |        | 1足 |

(注意1)

持参するものは、上記のものに限るが、同一種類の物を予備として持参することは、差し支えありません。

(注意2)

作業帽の定めのない職場・学校の競技者は、野球帽のような帽子でも可とします。

### 第3 競技方法・競技会場の概略について【課題：弾性床事務所清掃】

#### 1. 競技時間

10分（競技開始の申告 ～ 競技終了の申告まで）

#### 2. 競技の内訳

(1) 資機材の準備

(2) 資機材の点検

(1)と(2)は、競技時間(10分)には含まれませんが、採点の対象になります。

(3) 競技開始の申告

(4) 作業準備

(5) 入室の挨拶

(6) 椅子あげとゴミ処理

(7) 除塵を行う（乾式モップと小型片手ぼうきを使った掃き作業）

(8) モップを使って水拭き

(9) 机上拭き

(10) 点検

(11) 退室の挨拶

(12) 資機材の片付け

(13) 競技終了の申告

#### 3. 競技場の数

1面用意されています。

#### 4. 競技の方法

1面で1人ずつ競技を行います。

#### 第4 競技課題【課題：弾性床事務所清掃】

##### 1. 競技（作業）の手順・仕様

##### (1) 資機材の準備・点検

| 作業工程      | 作業方法   | 補足事項   |
|-----------|--|--|
| 1) 資機材の準備 | ① ワンタッチモップ柄の長さを調整し、作業カートの所定の位置に収める。<br>② ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着する。<br>③ モップ柄は、所定の位置に立てる。<br>④ 乾式モップヘッドは、カート上部の所定の位置に置く。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>資機材の準備終了後、審査委員の指示に従い、競技（作業）の準備に入る。</li> </ul> |
| 2) 資機材の点検 | ① 所定の位置に資機材が準備されているか点検する。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>異常があれば申し出る。</li> </ul>                        |

##### (2) 競技（作業）の手順・仕様の詳細

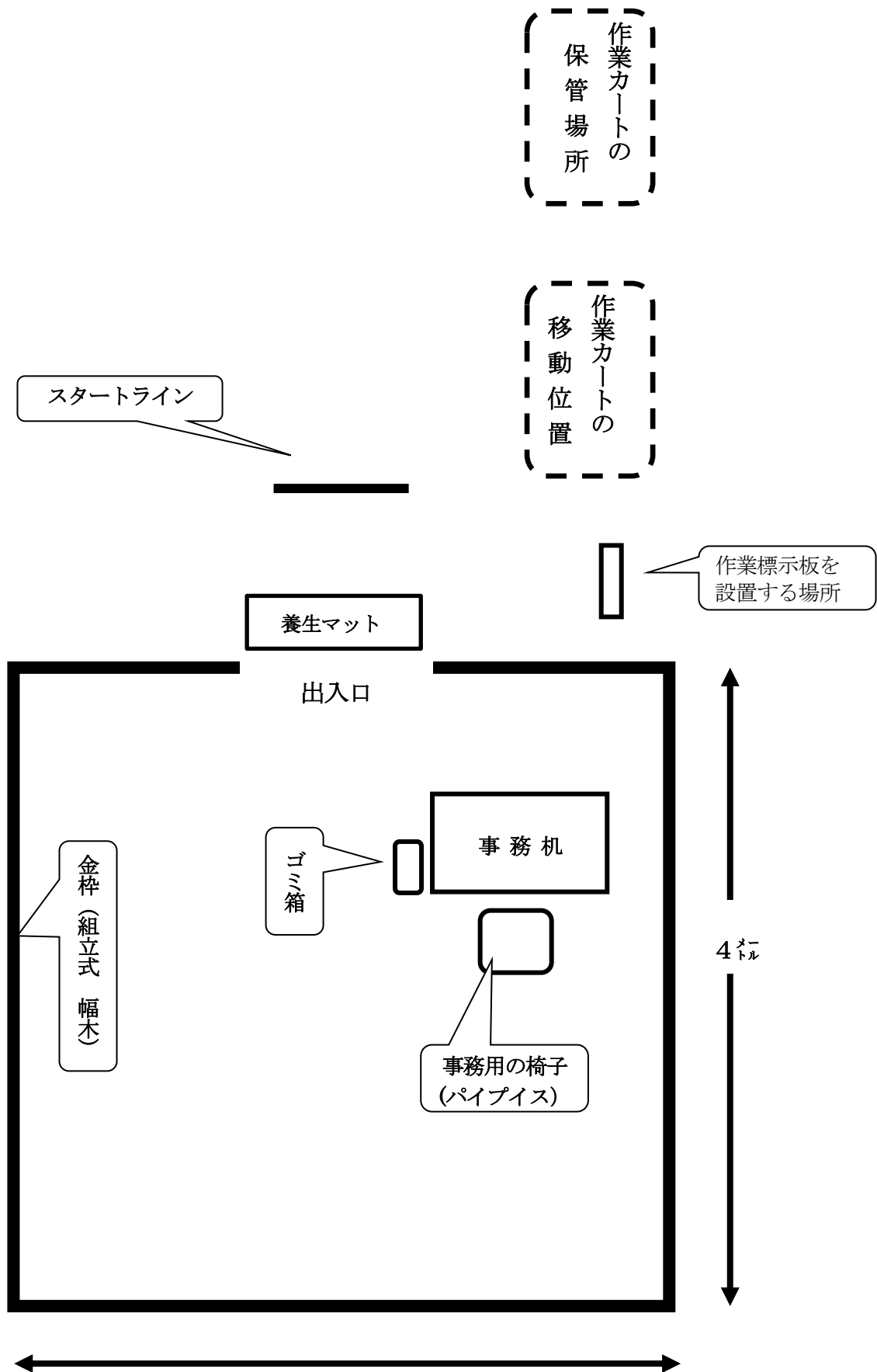
| 作業工程                 | 作業方法   | 補足事項   |
|----------------------|--|--|
|                      | ① 審査委員が「始めてください。」と告げます。                          |  |
| 3) 競技開始の申告<br>(計時開始) | ① スタートラインに立って名前を名乗り、「始めます。」と挨拶を行い、作業を開始する。       | <ul style="list-style-type: none"> <li>競技（作業）開始を申告する。</li> <li>片手を上げ、開始宣言を行う。</li> </ul>   |
| 4) 作業準備              | ① 作業カートを、保管場所から作業場所の近くに移動する。<br>② 作業標示板を立てる。     | <ul style="list-style-type: none"> <li>作業がしやすく、迷惑のかからない場所に、作業カートを移動する。</li> <li>作業場の外側を、廊下と想定します。</li> </ul>                         |
| 5) 入室の挨拶             | ① 出入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。                         | 「失礼します」と一礼し、入室する。  |
| 6) 椅子あげとゴミ処理         | ① 椅子を机の上にあげる。<br><br>② ゴミ箱にセットされているゴミ袋を、袋ごと処理する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>机は動かさない。</li> <li>椅子を机の四隅から、はみ出さないように正しく載せる。</li> <li>ゴミ袋のまま入れる。</li> <li>中身は出さない。</li> </ul> |

| 作業工程                                      | 作業方法   | 補足事項   |
|---|--|--|
| 6) (続き)                                   | ③ ゴミ袋を、作業カートの袋に入れる。<br>④ ゴミ袋のスペアを作業カートから取り出し、ゴミ箱にセットする。<br>⑤ ゴミ箱を机の上にあげる。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ袋を正しくセットする。</li> <li>・ゴミ箱を机の四隅から、はみ出さないように正しく載せる。</li> </ul>   |
| 7) 除塵を行う<br>(掃き掃除)<br><br>※別添1.<br>作業手順参照 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの上を歩かない。</li> <li>・モップ柄、小型片手ぼうき、文化ちり取りは、機材が縦方向になるように持ち歩く。</li> </ul>   |
|   | ① 乾式モップヘッドをモップ柄に装着する。<br>② 乾式モップを持ち、外から出入口の内側の除塵を行う。<br>③ 中に入り、幅木側、机の下、中央部の順番に除塵を行う。<br>④ 前進しながら、ゴミを出口に向かって1カ所に集める。<br>⑤ モップヘッドを、モップ柄から外す。<br>⑥ ダスタークロスを、モップヘッドから外す。<br>⑦ ダスタークロス、モップヘッドとモップ柄を持って室外に出る。<br>⑧ モップ柄を作業カートの所定の位置に収め、モップヘッドをカート袋の上に置き、ダスタークロスをカートの袋の中に入れる。<br>⑨ 小型片手ぼうきと文化ちり取りで、ゴミを取る。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出入口の養生マットの上で装着作業を行う。</li> <li>・ゴミを取り残さない。</li> <li>・ゴミを踏まないように足場を確保する</li> <li>・中央部では乾式モップのヘッドを回しながら、ゴミを集める</li> <li>・ヘッドを床から離さない</li> <li>・ヘッドはスポンジ面を上にして置く。</li> <li>・小型片手ぼうきは片面のみ使用する。</li> </ul> |

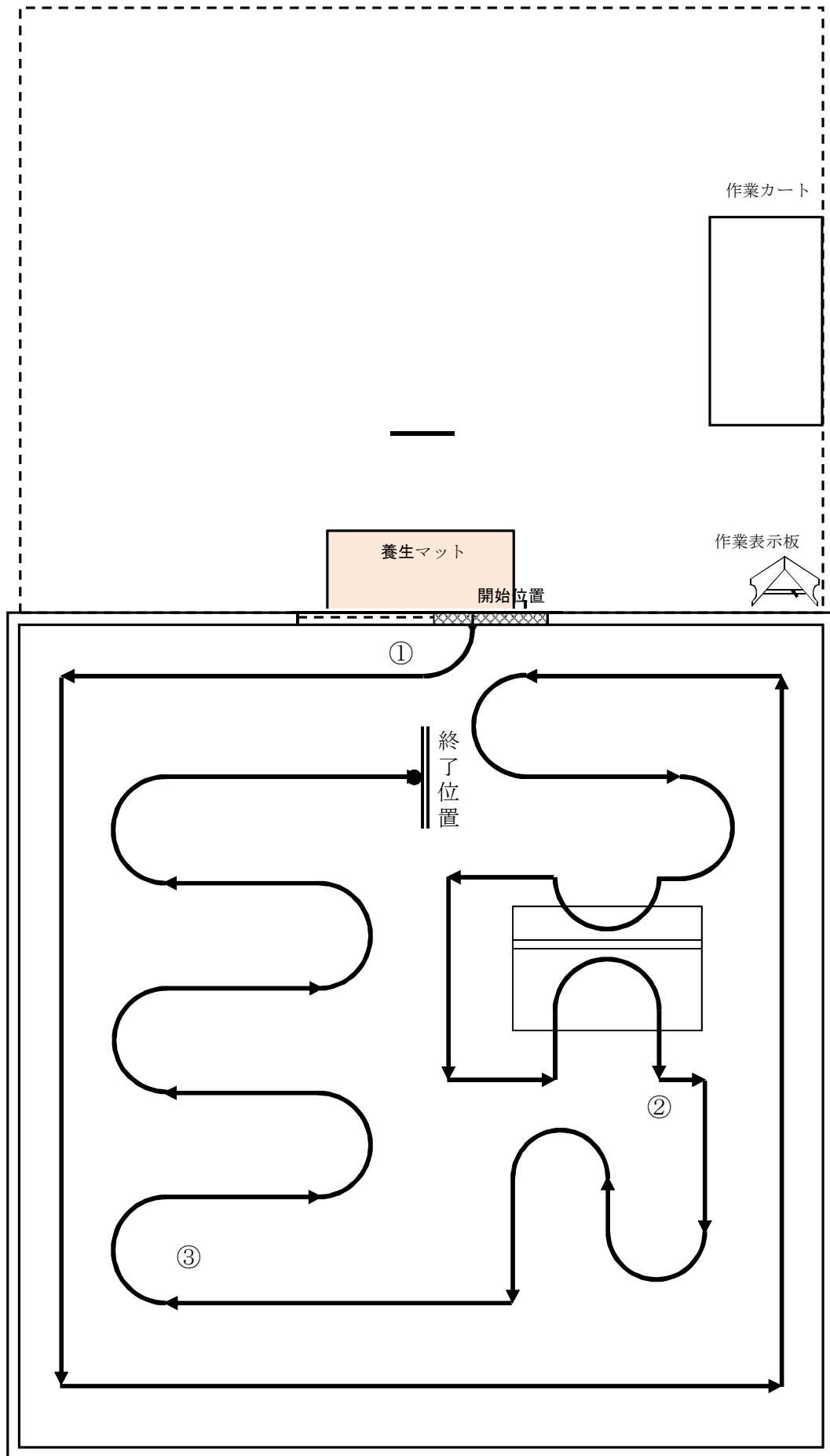
| 作業工程                                 | 作業方法   | 補足事項  |
|--------------------------------------|--|---|
| 7) (続き)                              | ⑩ ゴミの取り残しが無いか、点検を行う。<br>⑪ 小型片手ぼうきと文化ちり取りを、作業カートの所定の位置に収める。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・机の下も点検を行う。</li> </ul>   |
| 8) モップを使って水拭き<br><br>※別添2.<br>作業手順参照 | ① モップ房糸を、モップ柄に装着する。<br>② 水モップを持ち、作業場内に入る。<br>③ 幅木側、机の周り・下(片側)、中央部、机の下(片側)、中央部の順番に拭く。<br>・コーナー周辺・机の脚元は、房糸に手を添えて拭く。<br>・中央部では、モップを横拭きとし、後退しながら拭く。<br><br>④ 出入口部分では、外に向かって進む。(後退姿勢)<br>⑤ モップ房糸をモップ柄から外す。<br>⑥ モップ房糸とモップ柄を、作業カートの所定の位置に収める。<br>⑦ 作業場内に戻り、ゴミ箱を机の上から降ろす。<br>⑧ 椅子を机の上から降ろす。<br><br>⑨ 作業カートの位置に戻る。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水拭きした場所の上を歩かない。</li> <li>・拭き残し、拭きむらのないように。</li> <li>・モップ柄(水モップ)は、機材が縦方向になるように持ち歩く。</li> <li>・モップは、時々裏返し全体を使って拭く。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出入口の養生マットの上で装着作業を行う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅木、机の脚部に触れないように拭く。</li> <li>・机の下周りを残さないように拭く。</li> <li>・横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出入口では、房糸に手を添えて拭く。</li> <li>・出入口の養生マットの上で、脱着作業を行う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・椅子を所定の位置に戻す。</li> </ul> |

| 作業工程                       | 作業方法   | 補足事項  |
|----------------------------|--|---|
| 9) 机上拭き<br>※別添3.<br>作業手順参照 | ① 湿ったタオル(青色)を利き手に持ち、乾燥したタオル(白色)を反対の手に持つ。<br>② 湿り拭きを行う。<br>・四隅・横・縦の順に拭く<br><br>③ タオルを持ち替える。<br>④ 乾き拭きを行う。<br>・四隅・横・縦の順に拭く<br><br>⑤ タオルを作業カートの所定の位置に収める。 | ・タオルが汚れたら、きれいな面を出して拭く。<br>・タオルは八つ折りで使う。<br><br>・机の後ろ側(椅子の反対側)に立つ。<br>※別添4.<br>机上拭き作業立位置参照 |
| 1 0) 点検                    | ① 作業場内に戻る。<br>② 指さし及び目視による点検を行う。   | ・資機材の忘れ、ゴミの取り忘れなどの点検を行う。  |
| 1 1) 退室の挨拶                 | ① 出入口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。   | ・「失礼しました」と一礼し、挨拶する。   |
| 1 2) 資機材の片付け               | ① 作業標示板を作業カートの所定の位置に収める。<br>② 作業カートを保管場所に戻す。   |   |
| 1 3) 競技終了の申告<br>(計時終了)     | ① スタートラインに立って「終わりました。」と挨拶を行い、作業を終了する。  | ・競技(作業)終了を申告する。<br>・片手を上げ、終了宣言を行う。  |
| (競技終了後)                    | ① 審査委員の指示に従ってください。   | ・補助員が誘導します。   |

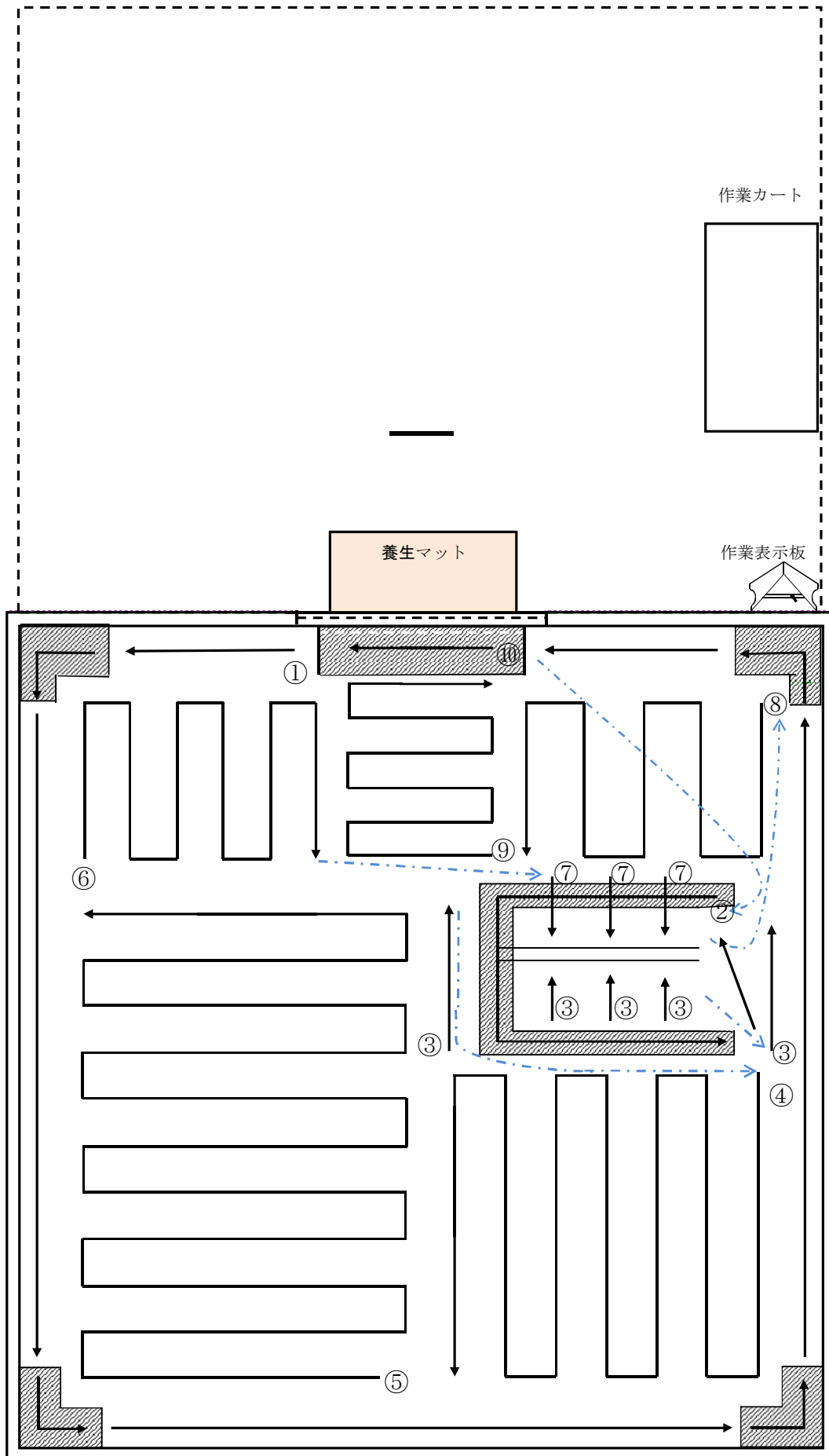
## 2. 競技場の概略







注：乾式モップのヘッドを振る回数ではありません

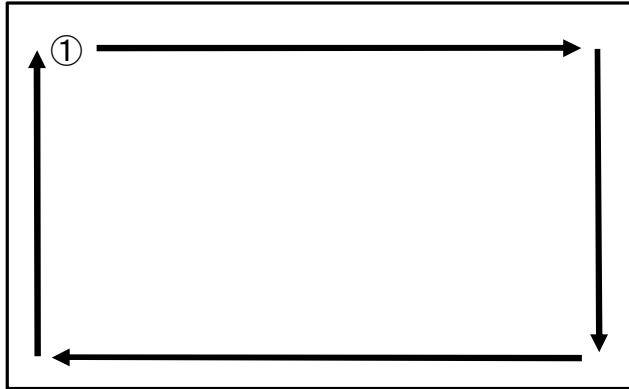


注：印は手を添える箇所を示す。  
水拭き回数を入れたものではありません。

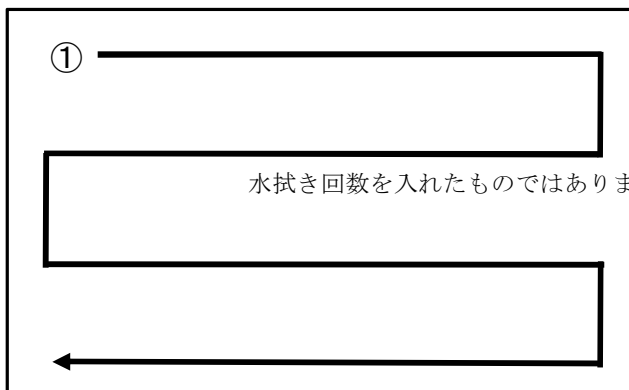
別添3

机上拭き作業手順

● ← 立ち位置

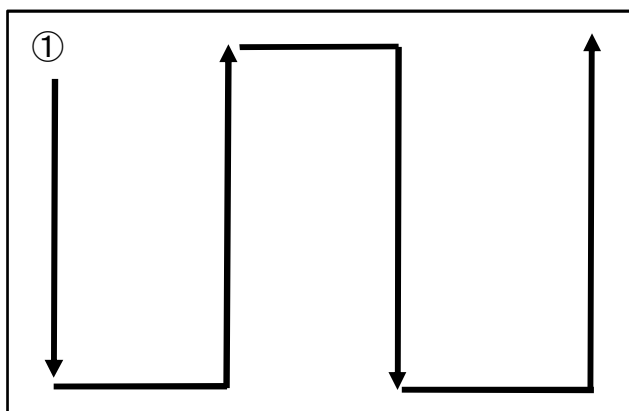


・四角く、縁にそって拭きます。



・横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。（このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより往復の回数が異なります。）

水拭き回数を入れたものではありません。



・縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。（このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は異なります。）

・乾き拭きも同じように行います。



注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。  
左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。

机上拭き作業立位置

別添4

